

球団のエースに

江陵高 古谷投手が仮契約

プロ野球・福岡ソフトバンクホークスから今季の新人選手選
択会議（ドラフト会議）で2位指名を受けた江陵高（幕別）の
古谷優人投手（17）は3年11月16日午後、ホテル日航ノースラ
ンド帯広で契約金6000万円、年俸700万円（いずれも金
額は推定）で仮契約した。仮契約後、記者会見に応じた古谷投
手は「球団のエースになれるよう全力で頑張りたい」と、集ま
った報道陣を前に抱負を語った。

仮契約には古谷投手と父
輝紀さん（44）、母理江さ
ん（42）、妹みりあさん（9）、
同球団から小川一夫編成育
成部長兼スカウト室長、永
山勝アマススカウトチーフ、
古谷投手を担当した作山和
英アマススカウトが出席し
た。

記者会見で古谷投手は
「契約金額には満足してい
る。（プロ野球選手になる）
実感が湧いた」と笑顔を見
せた。その後、球団側が用
意したユニホームに袖を通
し、作山アマススカウトに帽
子をかぶせてもらうと、「こ
のユニホームを着て3年後
に1軍のマウンドに立てる
よう、一日、一日、しっか
り練習したい」と表情を引
き締めた。

輝紀さんは「ここからが
プロ野球選手としてのスタ
ート。福岡に行っても北海
道から応援している」とエ
ールを送り、理江さんは「野
球のことは大丈夫だが、1
人暮らしは初めてなので心
配な面もある」と寂しそ
うに話した。古谷投手は、生

まれつき脳に障害があるみ
りあさんを抱き寄せ、「寂
しい気持ちもあるが、活躍
して球場に招待する」と約
束した。

同球団によると、古谷投
手は22日に福岡ヤフオク！
ドームの近くにあるヒルト
ン福岡シーホークホテルで
正式契約に臨み、背番号も
決定する見通し。23日には
同球場で行われるファンフ
ェスティバル2016に参
加する予定。

古谷投手は幕別町出身。
176センチ、76キロ。左投げ、

大収穫市新巻ザケに列

藤丸と振興局が連携第1弾

藤丸と十勝総合振興局が
結んだ包括連携協定プロジ
ェクトの第1弾として17
日、「とかち大収穫市 う
まいもんまつり」が藤丸7
階催し会場が始まった。初
日から、地元の特産品を
求める人でにぎわってい
る。23日まで。

藤丸主催による毎年恒例
のイベントで22回目。今年
は管内19市町村から38の店
・団体が出展した。広尾町
の「新巻さけ」（2・5キロ
前後、2800円）、音更
町物産協会の「生豆 分量
り売り」などに買い物客が
列をつくった。

買った商品をその場で食

左打ち。江陵高では1年生
からエースとして活躍、3
年生の夏の北海道大会で
は154キロの剛速球と20奪
三振の大会新記録を樹立す
るなどし、同校を初のベス
ト4に導いた。（内形勝也）

「学習療法」を紹介
20日に地域交流会
光寿会

社会福祉法人光寿会（森
光弘理事長）は20日午後2
時から、帯広市内のとかち
プラザ1階大集会室で「第

べられる「イートイン」は
今年初めての試みで、豚井
やカレー、ミルフィーユピ
ザなどが販売される。

芽室町から訪れた佐藤愛
子さん（73）は「毎年来て



仮契約後、家族と共にユニホーム姿
で記念撮影に応じる古谷投手（中
央）。右は輝紀さん、左は理江さん、
手前はみりあさん（折原徹也撮影）

